

What's up,
OITA!

世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

《Vol. 88》2020年6月発行

なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～
【 津久見市 / 竹田市 】



(津久見市)
津久見扇子踊り



(津久見市)
ひゅうが丼



(竹田市)
黄牛(あめうし)の滝



(竹田市)
荒城の月・三笠野

県立美術館が再開し、坂茂建築展が開催されています

新型コロナウイルス感染症対策のため、4/17から休館していた県立美術館が、感染予防対策を行ったうえで、5/11から再開しました。

県立美術館は、今年の4/24で開館から丸5年になりました。同館では開館5周年を記念して、同館の設計者であり、建築界のノーベル賞といわれるプリツカー賞の受賞者でもある坂茂氏の展覧会を開催しています。

坂氏は、建築家として国際的に評価の高い建築を設計し、新しい建築資材や手法を開発する一方、阪神淡路大震災の「紙のログハウス」や「紙の教会」、東日本大震災に活用された「避難所用間仕切りシステム」、四川大地震の復興支援では「成都市華林小学校紙管仮設校舎」を建てるなど、災害支援活動にも取り組んでいます。

今回の展覧会は、1階の展示室とアトリウムエリアあわせて約2,000㎡を使った開館以来最大規模の展示になります。本展は、ところどころ外から展示室の中の様子を垣間見ることができるようになっています。また、天候などの条件が整った場合には、道路に面したガラスの水平折戸を開放し、街と一体化させることも予定しています。坂氏が設計にあたりコンセプトの柱においた「街に開かれた縁側としての美術館」を体感していただける機会になっています。

坂茂建築展

仮設住宅から美術館まで

SHIGERU BAN

大分県立美術館 開館5周年記念事業

2020年 5/11 | 月 | - 7/5 | 日 |

(時間) 10:00 - 19:00 (入場は閉館の30分前まで)

※金・土曜日は20:00まで閉館

◎休展日なし

大分県立美術館



「おおいた喰らうどファンディング」が目標額を達成！

新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい経営状況にある大分市内の飲食店を支援しようと、大分県デザイン協会(越田剛史会長)が、5月1日~31日の1ヶ月間、インターネットで資金を集めるクラウドファンディングに取り組みました。

プロジェクト名は「おおいた喰らうどファンディング」。内容は、「大分市の飲食店を前払いはたは募金で応援」するもので、集まった資金のうち必要経費を差し引いた全額を各飲食店に渡し、支援者にはリターン(返礼品)として食事券等が配布されます。支援のタイプには、「お食事券」、「募金付きお食事券」、「募金」の3種類があり、リターンには食事券以外に県デザイン協会所属のクリエイターがデザインしたTシャツもあります。

このプロジェクトは当初300万円を目標にしていたのですが、半月で目標額を達成することができました。そして、次なる目標として設定した500万円も3週間で達成し、さらにNEXTゴールを800万円に設定しました。その結果、最終日31日には目標の800万円を大きく上回る11,328,000円(1,788口)もの支援が集まりました。

今後7月以降に、参加店舗に支援金が振り込まれ、支援者には食事券等が郵送されることになっています。今回の取組により、飲食店とその利用者のつながりが深まり、大分市内の賑わいが戻ってくることを期待されます。



5/1~5/31 おおいた喰らうどファンディング

支援総額

¥11,328,000

支援口数

1788口

にて終了。

大感謝！！

駐福岡中国総領事館からマスクの寄贈がありました

5/15(金)、駐福岡中国総領事館から本県の新型コロナウイルス感染症対策の取組を支援するためとして、マスク5千枚を寄贈していただきました。

送られてきた箱には、「青山一道、同担風雨
(同じ山を見る近隣同士、共に風雨に耐えよう)」
の文字が記されていました。

いただいたマスクは、県内関係機関に配布し、
新型コロナウイルス感染症対策に活用していきます。



アマビエ×シンフロで終息祈願動画「うちフロ」公開

5/28(木)、県は新型コロナウイルスの終息祈願と温泉をPRする動画「うちフロ」を公開しました。今回の動画は、平成27年に県が発表し大きな話題となった温泉PR動画「シンフロ」を舞台に、江戸時代に疫病の到来を予言したとされる妖怪アマビエが、シンクロナイズドスイミングをするものです。

緊急事態宣言が解除になり、県外からも観光に来ていただきたいところですが、観光客が自由に行き来できるまでには、もう少しの我慢が必要です。今回の動画をフォローしていただいた方のうち抽選で1,000名様に女将たちの手書きメッセージ付き「湯の花」をプレゼントします(〆切7/4(土))。詳しくは以下のHPをご確認ください。

「うちフロ」公式サイト：<http://onsenkenoita.com>



市町村からのお知らせ【別府市】

【別府市の新型コロナウイルス感染症緊急対策】

新型コロナウイルス感染症は、国際観光温泉文化都市の本市にも影響を与え、ゴールデンウィークの宿泊客数は前年比98%減と非常に厳しいものとなりました。しかし、本市では、これを「国民ぐるみでステイホームを守った結果」として前向きに受け止めています。

日夜最前線で活躍している医療従事者の皆様、ステイホームを守った皆様のおかげで、緊急事態宣言は解除となりましたが、まだまだ予断を許さない状況が続いています。観光業を基幹産業としている本市においてこの状況はとても苦しいところですが、市民一丸となって乗り越え、再びお客様をあたたかく迎えられるように、今は市民の皆様の生活を第一に新型コロナウイルス緊急対策事業として、「雇用を守る」「事業を守る」「市民の健康・生活を守る」取組を実施しています。

取組の一つとして、飲食業を救うべく市民11万7千人のテイクアウトプロジェクト「別府エール飯」を立ち上げたところ、全国から反響があり、その取組は各地に広がっています。その他、給食の代替となる弁当を100円で宅配する「子どもエール弁当」、飲食店限定のプレミアム付き「エール食うぽん券」、県民を対象に1人1泊2千円のホテル宿泊補助が出る「湯ごもりエール泊事業」を実施しています。



各地に広がるエール飯の取組



学生への食材配布



市政協力活動

これらに加え、別府に多く生活している学生を救うべく「学生エールプロジェクト」を立ち上げました。普段から飲食店やホテルでアルバイトをしていた学生も休業を余儀なくされ、生活が苦しい状況にあります。そこで、学生には米やパスタを配付し、おもてなしの準備や市民生活の環境整備等の市政協力に対して謝礼金を交付することとしました。新型コロナウイルスの影響で学校を退学することがないように引き続き支援策を進めてまいります。

海外で生活されている皆様もくれぐれもご自愛いただき、一日も早く以前のような生活に戻られることを祈っております。そして、別府温泉にお越しいただけることを心待ちにしております。



Pick Up! 大分の「今」

県内の出来事

※国際政策課にて新聞等を元にて作成

県内で社会経済活動再開の動き

5月14日に本県を含む39県に出されていた緊急事態宣言が解除されました。本県では4月21日以降、新たな感染者0の日が続いており、感染予防策をとりながら、社会経済活動が再開されるようになりました。

11日には、県立の中学・高校、図書館・美術館・歴史博物館が再開し、県内の小中学校でも各市町村の感染状況に応じ、分散登校などの対

策をとりながら登校を再開しています。

18日には休館していた大分駅の商業施設「アミュプラザおおいた」が1ヶ月ぶりに営業を再開しました。また、県内の一部の観光施設も徐々に営業を再開しはじめています。まだ、完全にこれまで通りという状況ではありませんが、少しずつ県内に賑わいが戻りつつあります。

新たな留学生支援策が臨時議会で成立

新型コロナウイルス感染症の影響によりアルバイト収入等が減少し、生活が困難になっている留学生を支援し、今後も留学生に選ばれ続ける地域を目指すための支援策が、臨時議会にて可決されました。具体的には「外国人留学生緊急支援事業」(予算額62,200千円)として、①留学生への特別奨学金の支給、②大学コンソーシアムおおいたの生活資金特別貸付制度への助成、

③留学生に本県での留学の魅力等を母国に発信してもらう事業等を実施し、留学生を支援するとともに、留学先としての本県魅力を発信していきます。

各大学や留学生の多い大分市・別府市においても学生への支援策が行われます。関係機関とも連携しながら、留学生が修学を諦めることがないように支援に取り組んでいきます。

県の国際交流員が、旬なOITA情報をお届けします。



シェ シンラン
(Xie Xin Lan)

大分で二年近く暮らしていますが、先日友人に誘われ、ようやくくじゅう花公園に行きました。外出自粛の緩和で、施設の中はかなり客がいて賑わっていました。女子旅をしていたシニア友人同士、ネモフィラの花畑を楽しんでいた親子、飼い犬を連れてカップルなど、様々な人を見かけ、いい気分転換になりました。歩いて疲れたら喫茶店で休憩をとって、満開の薔薇の香りに包まれて薔薇のソフトクリームを味わいました。帰る時は名残惜しかったですが、梅雨の風物詩のアジサイをモチーフにしたブローチを買うことができ、大変満足でした。次回の日帰り旅に、本物のアジサイを見に行きたいと思います。



県内の最新の観光情報はこちらからご覧ください！

(ツーリズムおおいたHP)

<https://www.visit-oita.jp/>

話題提供のお願い!



県人会の活動(懇親会等)や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください!(様式は任意です)

【記事提供/お問い合わせ先】国際政策課 担当:重石【Mail】 a10140@pref.oita.lg.jp